

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (農林水産業みらいプロジェクトコース)			訪問国	オーストラリア
学校名	浜松西	氏名	川島 和	学年	2年

〈留学テーマ〉

石垣いちごにスマート農業は導入できるのか？

〈テーマ設定の理由〉

私の祖父母が静岡県の久能地区で石垣いちごを栽培しており、私も小さいころからよく食べている。そんな石垣いちごが近年高齢化や後継者不足により栽培する農家が減ってきていると聞いて何とかしたいと思った。そこで、近年話題の「スマート農業」についてインターネットで調べてみたところ、高齢化が進んでいる所で活用されている例が多く、石垣いちご農家にも取り入れられるのではないかと考え、このテーマにした。

※留学前に行った「石垣いちご農家さんのへのインタビュー」で、石垣いちごにスマート農業を導入することは難しいと考え、視点を変えて、石垣いちごの特徴である家族経営について詳しく探究した。

〈留学中に行ったこと〉

平日：バター工場での労働



土日：マーケットでの販売



〈留学中に感じたこと〉

1つ目は、社員の仕事に対するモチベーションが高い

→自分の好きな音楽を聴きながら作業することができたり、自分の好きなタイミングで小休憩（Break Time）をはさんだりすることもできてとてもおのびのびとした環境であった

社員同士でのコミュニケーションが取れていたこと

→生産するところと加工するところでの伝達ミスも少なく、スムーズに作業することができたまた、人手の足りなそうなところを積極的に手伝ったりできる柔軟性があるところも魅力に感じた

〈アンバサダー活動〉

- ・日本のバターを食べてもらう
- ・日本のお菓子や文房具をホストファミリーにプレゼントする

→特に喜ばれたのは、発音が面白いからという理由で「ねるねるねるね」というお菓子と、インクが濃くて書きやすいという理由でボールペンが人気だった

〈エヴァンジェリスト活動〉

- ・留学前にインタビューを行った石垣いちご
農家の方に留学で学んできたことを報告
- ・学校で報告会と、興味がある生徒に向けての説明会
を開催



→新高校1・2年生を対象に先生に頼んで、説明会を実施させてもらった。また、これまでお世話になった先生方も見に来てくださり、感謝の気持ちも伝えることができた

〈今回の留学を通して〉

私は、今回の留学では何事にもチャレンジすることを目標にしていました。しかし、一人で海外に行くことが初めてだったため、最初の頃はとても緊張していました。また、失敗してしまうことが怖く、つい嫌なことから目を背けてしまう性格が邪魔して、初めは自分から話したり、何かをやってみたりしようよという気持ちにはなれませんでした。そんな中、留学先で唯一の日本人の女性と、自分が留学に来た経緯やどんな思いできているのかを話すうちに、失敗を恐れてやらないことよりも、せっかく海外に来ているのだから、やりたいこと、学びたいことを全部吸収して帰りたいと思うようになりました。そこから、社員の方々に積極的に話しかけるようになったり、ホストファミリーとの会話でもなるべく多くのことを質問したりしました。また、失敗しても、周りの人が大丈夫だよと快く許してくれたおかげで、いつもより大胆に、いろんなことにチャレンジできるようになりました。その結果、本当に行ってよかったと思えるような留学を経験することができました。

